


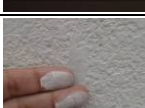




3. 一般的な劣化現象

	例	劣化現象	内容解説
躯体の劣化		エフロレッセンス	下地コンクリート、セメントモルタルのアルカリ分が雨水等により溶け出し、空気中の炭酸ガス等と反応し難溶性の白色粉状となり表面に結晶化する状態。
		躯体内部からのサビ汁汚れ	躯体のひび割れ箇所等から、水や炭酸ガス等が浸入し躯体内部の鉄筋表面にサビが発生することにより、そこからサビ汁が表層に流れ出る状態。
		露出鉄筋 躯体押し出し爆裂	躯体のひび割れ箇所等から、水や炭酸ガス等が浸入し躯体内部の鉄筋にサビが発生。体積が膨張することにより周囲のコンクリートを押し出し、破壊する状態。
		ひび割れ	躯体の動きのより発生する割れ目（構造クラック）。及びコンクリート躯体等が乾燥する際に体積の収縮が起こることにより発生する割れ目（収縮クラック）。
		下地調整材の浮き	躯体表面の段差調整のため施工したセメント系下地調整材と下地躯体との界面に、建物に加わる外力やひび割れから水分等が浸入することにより相互の付着力が低下し浮いている状態。
仕上材の劣化		膨れ	仕上塗膜の内部や下部（塗膜下地）に、何らかの影響で水蒸気等が発生したり水分等が浸入した場合に発生する状態。
		剥れ	仕上塗膜が下地との付着性を失って塗膜の一部または全体が剥れることです。上塗塗膜と下塗塗膜との間、あるいは下塗塗膜と下地との間から剥れたりする状態。
		汚れ	藻、菌類による緑黒色の汚れ、補修材など他の材料と複合した汚れや排気ガスや一般付着物による汚れ等が見られる状態。
		変退色	紫外線、風雨、熱等により仕上塗膜表面が劣化し、使用顔料の変色により塗膜面に変色が発生する状態。仕上塗膜の色の色相、明度、彩度に変化（退色）が発生する状態。
		光沢度低下	仕上塗膜表面が紫外線、風雨、熱等の外的作用により劣化、表面の平滑性が低下し、光の反射率が低下します。
		白亜化	紫外線、風雨、熱等により吹付タイル等の仕上塗膜の樹脂が分解し、塗膜表面が粉状になる状態。指で触ると白く粉がつく状態。
		割れ	紫外線、風雨、熱等による劣化や塗膜内のひずみ等によって仕上塗膜表面に細かく割れが発生する状態。塗膜表面だけの割れから素地に達する割れまであります。
その他の劣化		鉄部のサビ汚れ	鉄部面に雨水等の水分や大気中の酸素が反応し、酸化鉄となった状態。
		漏水	クラック誘発目地、開口部周り、クラック、妻壁、軒下、窓廻りの目地、ALC・PC・GRC等部材のジョイント部、配管パイプ廻り、シーリング材周囲等から躯体内部に水が浸入し漏れる状態。
		シーリング劣化	経年劣化や外的な要因により、シーリング材自体の伸縮力が徐々になくなり、亀裂が発生したり、シーリングに含まれる可塑剤による汚染が発生する状態。
		防水の劣化	屋上や天端などの各種防水材が劣化している状態